

※ 市広報11月号では、(仮称)地域福祉社会館の改修内容や管理の方法について、お知らせします。

生まれ変わる (仮称)地域福祉社会館では、こんなことが、できます。

小方公民館	(仮称)地域福祉社会館
① 市民活動拠点 (生涯学習活動など)	① 住民活動の場 地元住民が集まる場として、これまでどおり、自治会の集会などに使えます。
② 公民館活動の場 (社会教育事業など)	② 生涯学習活動の場 豊かな人生を送ることができるよう、文化的教養を高めたり、自発的な学習活動をする場として使えます。 ※ 社会教育事業は、引き続き実施します。
③ 防災拠点 (避難場所)	③ 防災拠点 (避難場所) 災害時の避難所として、これまでどおり使えます。
	④ ★地域福祉活動の場 地域課題の解決をめざす地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会の会議の場、高齢者が集い、生きがいつくりや生活支援の一端を担う役割を果たす場として使えます。

へえ～
今までどおり避難場所にもなるんだね。

—社会教育施設等の再編— 生まれ変わる小方公民館の方向性①

平成27年1月号から1年にわたりコイちゃんと一緒に考えてきた「社会教育施設等の再編」。今回の「いっしょに考えよう」では、小方公民館がどのような施設に生まれ変わろうとしているのかを、コイちゃんが案内します。また市広報11月号では、新しい施設の改修内容や管理の方法を紹介する予定です。

いっしょに
考えよう⑫
公共施設マネジメント
問い合わせ
企画財政課 ☎2125

新たな施設で、
地域福祉の推進
地域福祉は、
市民が住み慣れた地域で
生きがいをもち
幸せに暮らせる社会を
目指すものです。

小方公民館は
(仮称)地域福祉社会館
に生まれ変わる
予定です。

そのためには、地域における助け合いの心を広めたり、生きがいを持ち健康に暮らしたりするために、働く場や社会活動の場が必要です。これらの活動や趣味を活かした活動を支えることが、地域福祉の推進につながります。

求められる
高齢者の元気な力
元気な高齢者の皆さんが、支援を必要とする高齢者の支え手となっていただけると、みんなが住みやすい地域を築くことにつながります。

当分の間、高齢者人口は増えていきます。そして一人暮らしや夫婦二人暮らしという高齢者世帯も増えている反面、夫婦共働き世帯が増え、昼間若い人を見かけないという地域も珍しくありません。

元気な高齢者の皆さんが、積極的に地域福祉活動を展開することは、生きがいつくりや健康保持につながり、さらには、お互い様と言える関係が築け、若年世代も含め地域のつながりの再構築にもつながります。



公民館が、新しい施設に変わって、使いやすくなるんだね。
なるほどお～

Q 利用の仕方はどうなるの？
A これまでと同様に、施設内の受付で、手続きをして、ご利用ください。

Q 新しい施設になることは決まったの？
A 市民の皆さんが、利用する施設は、設置や管理についての条例で定める必要があります。

(仮称)地域福祉社会館の条例は、研修室部分の改修が終わる頃に、提出することになります。条例の制定は、議会での議決が必要のため、「決定」はしていません。

なお、小方公民館の廃止に関する条例は市議会9月定例会に提出しました。

公民館はなくなるの？
A 公民館という名前ではなくりますが、研修室部分は、使い勝手が良くなるように改修して、残します。

新しい施設は利用できるの？
A 新しい施設の2階部分が、市民の皆さんの利用できるスペースとなる予定です。

また、増築をして、フロアリングスペースを設けます。また、エレベーターも整備します。

※ 詳しくは市広報11月号でお知らせします。

小方公民館
生まれ変わると
どうなるの？